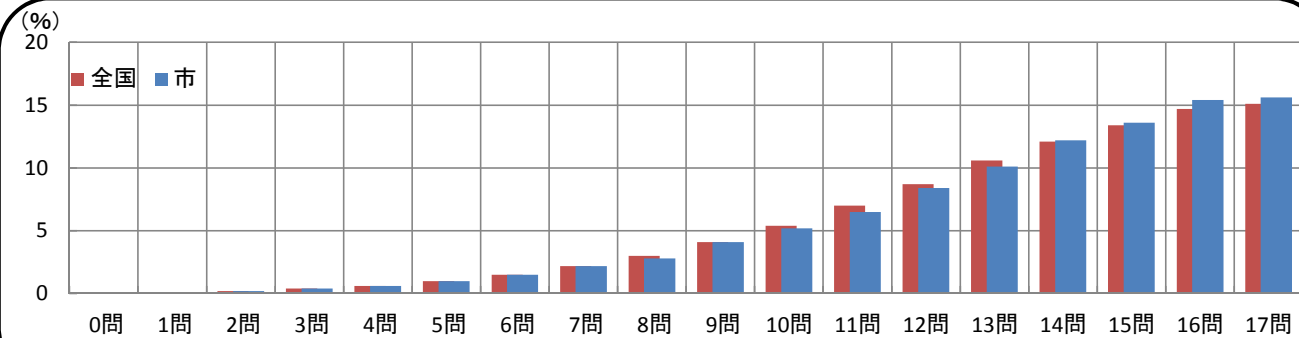


算数A 主として「知識」に関する問題

1 正答数分布（正答数ごとの児童の割合）

平均正答率
さいたま市 78.5% 全国 78.1%



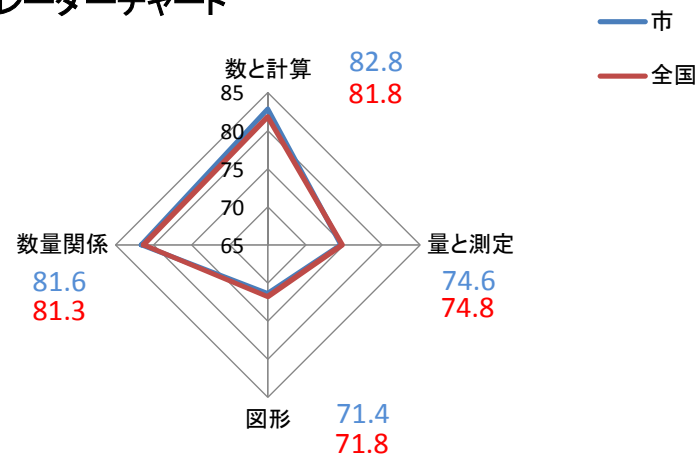
2 設問ごとの正答率等

※全国の前答率は、公立学校の結果です。

問題番号	問題の内容	数と計算	量と測定	図形	数量関係	問題形式	正答率 (%)	
							市	全国
1	(1) 46+57 を計算する	★				短答式	96.6	96.9
	(2) 903×6 を計算する	★				短答式	93.3	92.8
	(3) 9-0.8 を計算する	★				短答式	87.0	83.8
	(4) 2÷5 を計算する	★				短答式	92.3	91.8
	(5) 100-20×4 を計算する				★	短答式	80.6	80.9
	(6) 1/3+2/5 を計算する	★				短答式	90.4	90.6
2	(1) 示された図を基に、赤いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の1.2倍に当たるときの赤いテープの長さを求める式を選ぶ	★				選択式	72.1	71.9
	(2) 示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ	★				選択式	56.7	54.1
3	示された分数の中から、1/2より大きいものを選ぶ	★				選択式	74.0	72.5
4	(1) 8㎡に16人いるAの部屋の様子を表している図を選ぶ		★			選択式	83.2	82.3
	(2) 8㎡に16人いるAの部屋について、1㎡当たりの人数を求める式を書く		★			短答式	58.9	60.8
5	(1) 直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く			★		短答式	81.5	83.9
	(2) 1cmの立方体を基に、示された直方体の体積を求める		★			短答式	81.7	81.1
6	コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ			★		選択式	49.8	52.0
7	縦5cm、横11cm、高さ4cmの直方体の面㊦になる四角形を選ぶ			★		選択式	72.6	69.4
8	答えが100-20×4の式で求められる問題を選ぶ				★	選択式	82.5	81.0
9	正五角形の1辺の長さを□cm、まわりの長さを△cmとしたときの、□と△の関係を正しく表している式を選ぶ			★	★	選択式	81.6	82.0

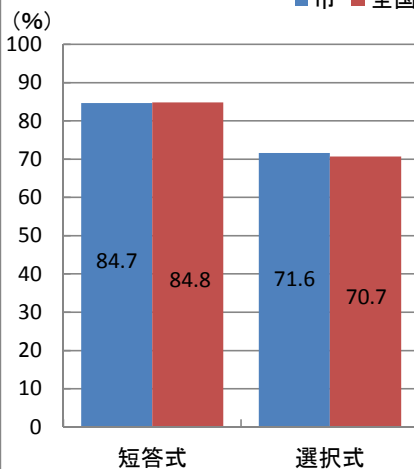
領域別レーダーチャート

単位(%)



問題形式別正答率

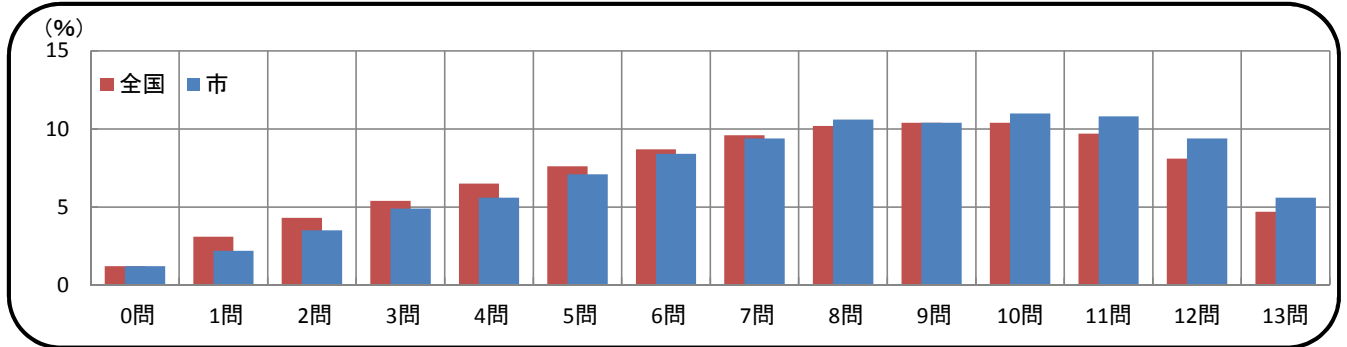
単位(%)



算数B 主として「活用」に関する問題

平均正答率
さいたま市 60.8% 全国 58.2%

1 正答数分布（正答数ごとの児童の割合）

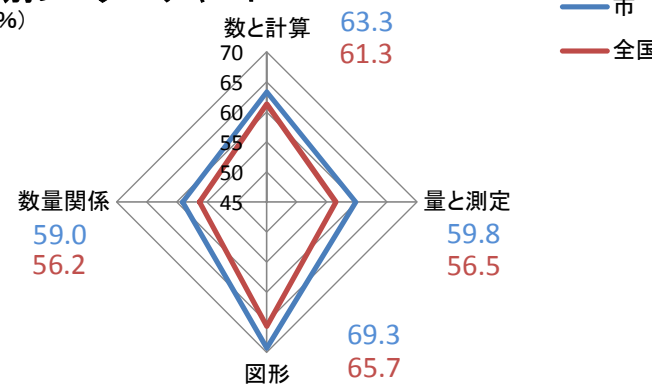


2 設問ごとの正答率等

問題番号	問題の内容	数と計算	量と測定	図形	数量関係	問題形式	正答率 (%)	
							市	全国
1	(1) 示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ	★				選択式	95.5	94.6
	(2) 二人の説明を基に、37×24の積が888になることを書く	★			★	記述式	57.5	55.2
2	(1) 6・7月の水の使用量1500㎡は、プールに入る水の量250㎡の何倍かを求める式と答えを書く	★	★			短答式	84.8	82.5
	(2) 1目盛りを50㎡として学校の水の使用量の表を棒グラフに表すとき、棒が縦20マスの枠の中に入らない月を選び、そのわけを書く		★		★	記述式	69.4	69.1
	(3) 6・7月の水の使用量が、1年間の水の使用量の1/4より多いことを説明するために用いる適当なグラフを選ぶ		★		★	選択式	70.3	61.5
3	(1) 昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く		★			短答式	43.5	38.6
	(2) 40人分のご飯を分けるとき、10人分の目安を正しく表している図を全て選ぶ	★				選択式	57.3	56.7
	(3) 示された分け方でスープを分けるとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く		★			記述式	30.9	30.6
4	(1) ㊦のリズムを3回目に演奏するのは何小節目かを書く	★			★	短答式	63.0	62.2
	(2) 二人の㊦のリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるかを書く	★				記述式	66.0	60.5
5	(1) 畳の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の板を置いた図をかく				★	短答式	69.3	65.7
	(2) 使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さを表している図を選ぶ	★				選択式	47.8	46.1
	(3) 妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く	★			★	記述式	34.6	33.0

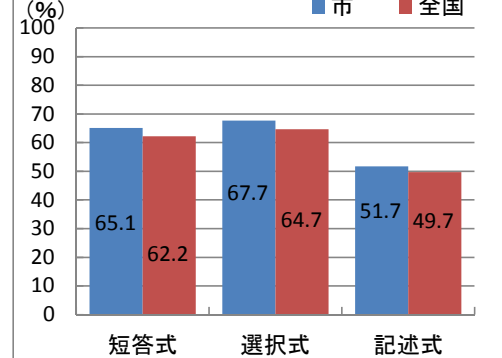
領域別レーダーチャート

単位(%)



問題形式別正答率

単位(%)



結果概要及び指導のポイント

【結果概要】

- ◇整数の乗法[A1(2)]、除法[A1(4)]、異分母分数の加法[A1(6)]は、相当数の児童ができています。
- ◆単位量当たりの大きさの求め方を理解することに課題がある。[A4(2)]
- ◆作図に用いられている図形の約束や性質を理解することに課題がある。[A6]
- ◆示された情報を基に必要な量と残りの大小を判断し、その理由を記述することに課題がある。[B3(3)]
- ◆示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することに課題がある。[B5(3)]

【指導のポイント】

- 単位量当たりの大きさを求める式を、既習の除法の意味と関連付けて理解できるようにする。また、二つの量の関係を表す図と式とを関連付けて、単位量当たりの大きさを求める式を理解できるようにする。
- 作図の指導では、操作していることが図形のどんな性質を使っているのかをおさえ、作図の意味を理解できるようにする。
- 小数倍の意味を図と関連付けることで、基準量や比較量の関係を的確にとらえられるようにする。
- 日々の学習指導において、解決の見通しを立てたり、解決の方法や判断の理由を筋道を立てて説明したりする活動を取り入れて、くり返し指導していくことが大切である。